

被災地復興支援「設置場所選定委員」第二回会議 報告書

太陽光発電に関する御報告

会員企業様出力順位(平成23年4月～9月までの総出力数)

1位	熊本県	株式会社アネシス
2位	茨城県	不二建設株式会社
3位	三重県	株式会社サロン・ド・ホーム

会議開催日

平成23年9月27日(火)

本日の議題内容

太陽光発電設置時期について

P.V.ソーラーハウス協会からの提案

太陽光発電の設置に関して、被災地に太陽光発電を贈る(設置する)のは、復興の兆しが見え次第贈るとい
うことを第一案としたいと思います。

決定事項

被災地の視察を行い、現状の被災地では太陽光発電を設置することは出来ないと判断しました。プロジェクト当初では第一回目の設置を10月に予定していましたが、設置時期を見送りにし、復興の兆しが見えてから行うということとなりました。

今後冬を迎えるにあたり、東北に位置する被災地三県にとって冬の寒さは死活問題です。そこで、寒さ対策として被災地の仮設住宅に断熱性能に優れている八二カム構造・断熱ブラインドを贈るということ
を第二案としたいと思います。

決定事項

太陽光発電の出力方法を断熱ブラインドに変換して設置本数を出力するというを前提に、仮設住宅に断熱ブラインドを贈るということとなりました。設置地域に関しては、現在仮設住宅の断熱改修が遅れている宮城県を予定しています。

委員会での決定事項(P.V.ソーラーハウス協会の提案を受けて)

被災地域を被災者と考えず、現実的に大きく被害を受けた方を被災者とする。

被災者が何を必要としているのかを考えて支援を行う。

当初の計画通り、太陽光発電の設置は数が減っても行う。

太陽光発電の設置に関しては、現在設置ができなければ、時期を待って設置をする。

太陽光発電 一本での支援であった計画を、太陽光発電 + 八二カム構造・断熱ブラインドを贈るという告知を会員企業様とユーザー様に行い、断熱ブラインド用のチラシを作成する。

今後の方向性

今回の2つの提案について、被災地支援プロジェクトにご賛同いただいている会員企業様及びユーザー様にご意見を伺いたいと思います。詳細提案については、後日改めてご案内させていただきます。

「設置場所選定委員」第三回会議は12月開催を予定しております。詳細は決定次第ご連絡させていただきます。